

平和とよりよき生活のために

広島の せいきょう

第37号 2012年8月20日

広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0802

広島市中区本川町2-6-11

第7ウエノヤビル5F

TEL 082-532-1300

FAX 082-232-8100

E-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp

URL:http://hiroshima.kenren-coop.jp

広島県と災害物資協定を締結



2012年6月13日(水)、広島県庁において、広島県生協連と広島県との「災害時における物資の調達等に関する協定」締結式を行いました。

協定には、県外生協との広域連携を明記した他、

- 広島県災害対策本部へ生協から「連絡員」を派遣する
 - 生協の自主的な防災予防活動を推進する(地域の防災力向上へ寄与)
 - 県の訓練等へ生協が参加し、連携強化を図る
- ことなどが、新たに盛り込まれました。

また、緊急車両通行許可証の発行などに関して、県の生協への協力についても記されました。

式のなかで湯崎英彦県知事からは、「事業連合を含む県内生協の総合力、ならびに日本生協連等との広域連携により、調達物資の拡充と迅速な調達が図られるものと大いに期待している。災害に強い県づくりは行政だけでは実現できない。地域に根ざした活動をしている生協との連携が県民の安全の確保のため不可欠」と挨拶がありました。

富田巖会長理事からは「生協は助けあいの組織。今回の協定を機に、行政・生協・民間と力を合わせ、組合員ならびに県民のくらしを守るため、一層の前進していきたい」と述べ、お互いにこの協定が県民のくらしの安心につながることを確認しました。

なお、今回の協定は阪神・淡路大震災翌年(1996年7月)に、県内3生協(日立造船因島生協・竹原生協・生協ひろしま)が、それぞれ広島県と協定を結んでいたものを、東日本大震災を契機に県連へ一本化したものです。(広島ホームテレビ、朝日新聞、中国新聞、読売新聞で報道されました。)

※富田巖会長理事は、7月8日に永眠いたしました。

2012年度通常総会を開催しました

2012年6月22日(金)に2012年度の総会を開催し、議案すべて承認いただき滞りなく終了しました(於鯉城会館)。今年は国連が国際協同組合年に位置付けた特別な年、協同組合の原点に立ちかえり、平和で安心してらせる地域社会をめざして、行政や諸団体と連携しながらくらしの諸課題に取り組むことを確認しました。

2012年度の重点課題

1. 会員生協の経営基盤の強化と連帯活動を推進します。
2. くらしの安全・安心にかかわる諸課題に取り組めます。
3. 平和の確立と核兵器廃絶の取り組みを推進します。
4. 行政や諸団体との連携を強め、地域共同のネットワークを推進します。
5. 広報・渉外活動を強化します。

ご来賓

- 梅木敏明様(広島県環境県民局長)
- 坂本和博様(JA広島中央会専務理事)
- 羽倉幸子様(広島県消費者団体連絡協議会会長)
- 森藤順二様(広島県労働者福祉協議会事務局次長)
- 黒木勉様(日本生活協同組合連合会中四国地連)



役員の補充選任について

- 金築英司 理事(グリーンコープ専務理事)
乃美康志 理事(福山医療生協専務理事)
花田俊哉 監事(広島医療生協常務理事)

退任役員

- 常務理事 松山智(福山医療生協)
理 事 北島修(グリーンコープ)
監 事 宇田川和代(広島医療生協)

※第1回理事会にて、岡野龍広氏を常務理事に互選しました。

2012国際協同組合年・リーダー研修会を開催しました

2012年は、国際協同組合年であり、県連「2020年ビジョン」策定の年でもあります。厳しい社会情勢の中、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故を経験し、日本社会が大きな転換期にある今、協同組合人として、協同組合の原点と役割について再度学ぼうと、「協同組合間協同と地域コミュニティの再生」をテーマに、リーダー研修会を開催しました。

講師には、三重大学大学院生物資源学研究科・石田正昭特任教授をお招きしました。協同組合の定義や歴史、「人間重視」「集団重視」「価値重視」「教育重視」の特質などとあわせて、地域社会に責任を持つことの重要性や、今後は「仕事おこし」が協同組合に大きく期待されるとの提起がありました。また、奨励すべき事例として、生協ひろしまの関係子会社「ハートランドひろしま」の障がい者雇用型地域協同活動も紹介されました。そして、協同組合間協同によって、自然エネルギー事業を含む地域密着型の仕事おこしや、地域社会の問題解決に役立つアプローチが一層可能になる、との期待が述べられました。

会員生協役員・組合員リーダー・幹部職員や、JA等の協同組合関係参加者を含む60名が、協同組合間協同の重要性について、確認しました。



三重大学特任教授 石田正昭さん

安らかにお眠りください

(富田巖会長理事 永眠 2012年7月8日)

〈追悼文〉

富田会長に最初にお会いしたのは私が26歳の時でした。私は、大学卒業後、某証券会社で働いていましたが、3年が過ぎようとしていた頃、会社の方向性と自分の価値観に矛盾を感じはじめ、転職を考えていました。広島県婦人生協(現生協ひろしま)の門をたたいたとき、情熱を燃やし生協の展望を語ってくれたのが富田会長(当時県連の事務局長)でした。

あっという間の37年間でした。いろんなことがあり過ぎて、少ない紙面では語りつくせませんが、次の3つの点について紹介し、在りし日の富田会長を偲びたいと思います。それは、事業連帯の推進、協同組合間の協同、そして平和の取り組みです。

今から28年前の1984年10月1日、富田会長の強いリーダーシップのもと、広島県民生協と広島中央市民生協が合併し、現在の生協ひろしまが誕生しました。その後も、福山、尾道、呉生協との事業統合が実現し、さらには他の会員生協との事業連携も促進され、今や県内の3世帯に1世帯が生協の組合員となっています。

富田会長は20年以上も前から協同組合間の協同を重視していました。県内のJA、森林組合、漁協、生協など11の団体で構成される広島県協同組合連絡協議会(HJC)では、発足当時(1985年3月)より、副会長として食を軸とした地産地消を推進してきました。国際協同組合年の本年はその輪がさらに広がり、23の団体・個人が、「協同と地域コミュニティの再生」の実現に向け現在作業を進めています。

平和に対する富田会長の思いは人一倍強く、被爆地広島で活動する協同組合として、思想信条の違いを超えた連帯を常に発信しつつ、一貫して市民の立場で草の根の平和活動をリードしてきました。昨年からは、被爆者団体や広島YMCA、生協など市民6団体が主催する「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集いの代表をつとめ、平和市長会議加盟自治体との連携も進んできました。

他にも、近年は、人間の生命や暮らしにとって最も根源的な食、エネルギー、福祉についてよく語ってくれました。内橋克人氏が提唱する「FEC自給圏づくり」(食・農業、環境・エネルギー、医療・福祉の地域内自給圏づくり)こそが、地域循環型社会経済システムの再構築の道筋であり、地域コミュニティの再生につながるはずだ、と。「2012国際協同組合年ひろしま」のめざすこの「FEC自給圏づくり」という方向性を、私たちはようやく見出し、スタートラインについたばかりです。

生協の発展に文字通り生涯を尽くし、平和を願い、大きな人間力で導いてくれたリーダーを、こんなにも急に失ったことは、本当に残念です。富田会長亡きあとは、会員生協ならびに役職員・組合員は故人の遺志を受け継ぎ、一丸となって、協同組合間の協同や行政、諸団体との連携を促進させ、誰もが安心してらせる持続可能な地域コミュニティの再生をめざし、邁進していくことを約束いたします。

(副会長理事 岡村信秀)



▲在りし日の富田会長理事

ベスト消費者サポーター章伝達式(2011.5.18)

消費者支援活動への功績が称えられました。

右から 抹香消費環境県民局長 富田会長理事、岡村専務理事、下村環境県民局長、(後ろ)藤原消費生活課長

富田巖会長理事 (享年75歳)

1958年広島県勤労者生活協同組合勤務。広島県生活協同組合連合会の設立時より事務局長としてかわり(1965)、同常務理事・専務理事を経て会長理事(1996-2012)として県内生協運動をけん引。また、生協ひろしまの前身である広島県婦人生協の設立(1971)にも貢献し、改称した広島県民生協(1981)では専務理事、合併後は生協ひろしま専務理事(1984-1992)同理事長(1993-2005)を歴任。その功績を称えられ「従六位 旭日双光章」の栄に浴す。

～4市6町のみなさんと共に学びました～ 2012「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い 開催

- 主 催／「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い 実行委員会
- 後 援／広島県、広島市、平和市長会議、(公財)広島平和文化センター
- 日時会場／2012年5月23日(水)、鯉城会館サファイア 120名参加

2回目となるこの集いは、「平和市長会議」提唱の2020ビジョンに賛同する広島県内の市民6団体(県原爆被害者団体協議会(2団体)、県地域女性団体連絡協議会、広島YMCA、県青年連合会、広島県生協連、※事務局は県生協連)が実行委員会を形成して開催しました。今回の特徴は広島県「国際平和拠点ひろしま構想」の策定(2011年秋)を受け、広島県にもご協力いただいたことです。

松井広島市長が会長を務める「平和市長会議」に引き続き賛同し取り組みを進めるとともに、「国際平和拠点ひろしま構想」を基軸に、県民市民が行政と連携して、世界の中の広島役割を果たすことの重要性を再確認しました。なお今年は、全23市町の職員にも参加を呼びかけ、広島市・竹原市・尾道市・東広島市・海田町・熊野町・坂町・北広島町・世羅町・神石高原町の4市6町と広島平和文化センターからご参加いただきました。

分散会 ～被爆の証言～

分散会では、少人数のグループに分かれて被爆証言を聴き、核兵器の非人道性について、自治体職員のみなさんと共に学びました。(全10グループ)



「世界の平和情勢と平和市長会議の役割、市民・加盟自治体への期待」

スティーブン・リーパー 広島平和文化センター理事長

「皆さんが自覚している以上に、広島の動きは、世界に大きな影響を与える。署名や、各自治体でイベントを行うなど、世論を高め、声を大きくして日本政府を動かすことが、世界を動かすことにつながる。日本が平和文化のリーダーとなり、持続可能な安全な世界を作らなければならない。今こそ取り組みを進めていこう。」

情勢報告①



「『国際平和拠点ひろしま構想』について」

橋本康男 広島県地域政策局国際部長

「2011年10月に『国際平和拠点ひろしま構想』を策定。『国連としても全面的に支持する』(パン・ギムン国連事務総長)との表明。

構想の3つの視点①核兵器廃絶と同時に紛争のない平和で安定した地域社会・世界をつくるのが、地域紛争時代の今、重要。②世界の視点から見た広島の使命と役割を考える…廃墟から復興した広島は、「核兵器廃絶への信念」とともに、世界で紛争等に苦しむ人々に「復興への確信と未来への希望」を与える。③平和構築人材育成、広島県と広島市の連携。

広島市や県内自治体、そして県民市民のみなさん、今日お集まりの皆さんと、オール広島で、核兵器廃絶と同時に、安定した地域社会づくりに包括的に取り組みたい。」



▲行事終了後の街頭署名。

写真右から
荒瀬広島市平和推進課2020ビジョン推進担当課長、リーパー広島平和文化センター理事長、坪井県被団協理事長、古岡県被団協副理事長、岡村県生協連専務理事

2012国際協同組合年ひろしま〈記念大会〉 ～協同の輪で地域コミュニティ再生を～

2012.7.6(金) 広島県民文化センター(参加500人)

記念講演 「協同組合が創る共生経済」

〈経済評論家〉内橋克人さん

2012国際協同組合年全国実行委員会代表の内橋克人さん(神戸新聞客員論説委員)からは、「協同組合は、今日の社会で大きな役割を期待されている。未来世代のための生存条件を考え、安心して生きていける社会はどうあるべきかを考えることが、現代を生きる私たちの責務」と、力のごもった講演をいただきました。

太陽光や風力など自然再生可能エネルギーを活用し、農業や酪農、水産の再生によって食料を自給し、同時にケア(介護、医療など)についても地域内でまかなう「Foods(フーズ)、Energy(エナジー)、Care(ケア)の自給圏」形成によって、新しいコミュニティの創造を目指す自論に基づき、「人間が人間らしく生きられる社会をつくり、高い相乗効果の期待できる新たな共生経済システムを構築することが、協同組合に課せられた最大の社会的使命」と、期待と提起がありました。



研究報告 食と農、環境・エネルギー、地域福祉の3分科会から「アクションプログラム」を提起。 被爆地広島協同組合として平和についても認識を共有

第1分科会(食と農)

都市と農村交流で農・漁村維持に活路を

広島県の農業・漁業就業人口の減少と高齢化は全国と比較しても深刻。地元産農畜産物の学校給食への提供等を充実させ、今後は「食農キッズクラブ」や、「地域版地産地消ネットワーク」を立ち上げ、「地域ポイント」(地域通貨に類似)を使った「都市と農漁村の交流」モデルを展開予定。食料自給に地域で取り組む活動の充実をはかりたい。



JA広島中央会
仁井本敏浩さん

第2分科会(環境・エネルギー)

森林材地域循環と自然エネルギーの 地産地消を協同の力で

広島県の森林の公的価値は年間1兆7千億円。森林の果たす役割を広く県民に知ってもらうため、「HJC(広島県協同組合連絡協議会)の森」づくりを予定。

今後は、「自然エネルギー普及の研究会」を発足させ、県内自治体と連携し、地域ビジョン策定と協同組合によるエネルギー事業の可能性を探る。



生協ひろしま
佐々木桂一さん

第3分科会(地域福祉)

協同・非営利組織が総合力で暮らしを支え、 地域・つながりづくりの要に

県社協・NPO・ワーカーズコープ・JA・医療生協・購買生協と、本分科会構成の多彩なメンバーで活動交流し、組織や強みを知ったのは大きな成果。暮らしの実態ヒアリング調査も実施し、「つながり・福祉を地域で築く」重要性を共有。学習交流会も開催した。

総合力で暮らしを支えること、地域と利用者のニーズに徹底して寄り添うこと、地域ネットワークづくりの中心的役割を協同組織が担うことの重要性を提起。今後引き続き、メンバーで地域懇談会等を共催する。



日本労協連(ワーカーズコープ)
センター事業団
上田留美子さん

特別研究会

平和に向けて地域から取り組む ～平和の創造とパートナーシップ～

ヒロシマの協同組合として、被爆の実相を継承する学習を重ね、広島県・市の平和行政を後押しすることは重要。フェアトレードやユニセフ活動等を推進し、私たちの暮らしと世界の過酷な状況下の人々とのつながりを啓発するのも責務。

生命の尊重は協同組合の原点。また、地域の自立と安定は平和な社会の基盤。地域に根差した「協同と地域コミュニティの再生」への取り組みは、平和に向け地域から取り組むことそのもの。



広島県生協連合会
板屋愛子事務局



国連が2012年を「国際協同組合年」と定め、全国の協同組合は、地域の活性化や食料自給率向上、環境森林保全などに取り組んでいます。

広島では、JA・森林組合・漁協・生協等11団体が構成する「広島県協同組合連絡協議会」を母体に、県社会福祉協議会やNPO、ワーカーズなどが加わり23団体が構成する「国際協同組合年ひろしま実行委員会」を2011年4月に発足させ、4つの分科・研究会において、活動を展開しています。

消費者支援功労者表彰の栄に浴す…〈消費者ネット広島〉

この表彰制度は、消費者支援活動に顕著な功績のあった個人または団体・グループに対して、その功績をたたえ顕彰することによって、消費者利益の擁護及び増進を図ることを目的として1985年より実施されています。（本年度は内閣総理大臣表彰個人3団体2、内閣府特命担当大臣表彰個人11団体10が受賞しました。）

消費者ネット広島は2003年の設立以来、裁判外の申し入れ等により、解約時期を問わずに受講料全額を返還しないとするカルチャースクールの規定や、自動車教習所における中途解約の際に教習料を原則払い戻ししない旨の規定等について、事業者に対して約款の是正を求めてきました。初の訴訟提起では、貸衣装事業者に対して、貸衣装レンタル契約のキャンセル条項の使用差止を求めて提訴。当該条項の不当性を確認し、裁判上の和解を締結しました（2011年6月3日）。また、広島県や広島市との連携により、「不当勧誘110番」や「消費生活相談員養成講座」「見守りサポーター養成研修」の実施、「消費者被害防止シンポジウム」を開催するなど、消費者被害の防止・救済、研修等の取組を進めていることが評価されたものです。生協連合会は引き続き消費者ネット広島を支援します。



松原消費者行政担当大臣より表彰を受ける古富理事長

市町消費者行政しらべ…〈広島県消費者団体連絡協議会〉

2011年度、消費者団体連絡協議会は、市町の消費者行政しらべを行いました。事務局は会員団体である消費者ネット広島に委託し、県内23自治体を地域の会員とともに訪問して懇談、アンケートは後日回収しました。地方消費者行政活性化基金による相談窓口の整備や体制強化は一定前進しているものの、基金終了後、地域の消費者を守る仕組みが維持・充実可能かどうかは大きな課題であることが分かりました。ほとんどの自治体に啓発ツールや出前講座などが用意されています。消費者被害の未然防止・拡大防止のためには、行政と人、とりわけ地域リーダーの積極的なかわりが大切です。

アンケートの集約をさらに分析しながら消費者（消費者団体）にできることはなにか考え、また様々な団体とのネットワークをつくりながら、消費者被害防止に向けて知恵を出しあっていきたいと考えています。

活 動 日 誌

月 日	機関会議
4月12日	理事会⑥、 ピースアクション実行委員会②、監査
4月26日	組織委員会⑥
6月6日	常務理事会④
6月22日	県連総会・リーダー研修会、理事会①
7月4日	組織委員会①
7月11日	理事会②
7月19日	福祉事業推進協議会①

月 日	行事名称
4月4日	食の安全委員会④
4月5日	初級職員研修会
5月13日	核兵器廃絶をめざすヒロシマの会総会
5月18日	福祉事業推進協議会⑥
5月23日	「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い
5月24日	食の安全委員会⑤
6月9日	消費者ネット広島総会&記念講演会
7月2日	くらし消費者委員会①
7月5日	食の安全委員会①
7月6日	国際協同組合年ひろしま記念大会、広島県協同組合連絡協議会総会
7月21日	平和行進（福山）
7月22日	虹の合唱団練習in安佐動物公園
7月28日	平和行進（三次、呉）
7月29日	平和行進（因島）
7月30日	平和行進（廿日市）
8月4日	ピースアクションinヒロシマ（～6日）、平和行進集結式
8月5日	虹のひろば



広島県学校生活協同組合

(組合員数、事業高、出資金は2012年3月31日現在)

〒732-0052 広島市東区光町2丁目8-32 エコード広島2階 TEL.082-264-3311

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---|
| ●代表者名 | 理事長 研本 正明 | ●活動エリア | 広島県内の小・中学校、共同調理場、幼稚園、保育所、教育委員会及び教育団体の職域 |
| ●組合員数 | 19,189(人) | ●役員数 | (常勤理事)2人、(非常勤理事)19人、(非常勤監事)4人 |
| ●事業高 | 877,589千円 | ●職員数 | (正規)9人、(嘱託)2人、(定時)4人 |
| ●出資金 | 420,393千円 | ●HPアドレス | http://www.hiro-gakkouseikyoku.or.jp/ |
| ●設立登記年月 | 1948年12月28日 | | |

6月26日(火)広島県学校生協第59回通常総代会が開催されました。2011年度の総供給高は8億7,758万円と前年比△914万円(99.0%)でした。総供給高は前年度を下回りましたが、経費の節減に努め1,785万円の当期剰余金を確保できました。当期末処分剰余金は2,602万円となりました。

近年、団塊世代教職員の大規模退職の一方で、若年層の生協加入率が低下しています。組合員のくらしを守るために、安全安心を基本とした生協活動の意義を理解してもらうための取り組みを行います。また商品企画の充実やwebショップの充実など販売チャネルの充実を図り、より魅力的な生協活動を推進して行くことが確認されました。

総代会で提案された5つの議案は全て全会一致で承認されました。



広島県高等学校生活協同組合

(組合員数、事業高、出資金等は2012年3月31日現在)

〒730-0047 広島市中区平野町8-15 カレントコスモ3F TEL.082-244-2311

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| ●代表者名 | 理事長 守本 秀樹 | ●活動エリア | 広島県内の公立高等学校及び特別支援学校 |
| ●組合員数 | 6,144人 | ●役員数 | (常勤理事)1人、(非常勤理事)30人、(非常勤監事)5人 |
| ●事業高 | 498,327千円 | ●職員数 | (正規職員)4人、(契約職員)2人、(定時職員正規換算数)4.6人 |
| ●出資金 | 185,283千円 | ●HPアドレス | http://www.koukouseikyoku.or.jp/ |
| ●設立登記年月 | 1957年1月 | | |

6月23日(土)に第57回通常総代会を開催しました。景気の低迷、引き続き人件費削減の動き及び将来への不安から消費意欲は低迷、また学校状況の変化など事業環境の厳しさを確認し合いました。

そうした状況を克服し、経営の安定化を図るために組合員数の拡大、新規採用者を含む未加入者への加入促進の取り組みとともに退職者の継続組合員化への働きかけを強めることが事務局と職場の共通の課題であると確認しました。

自らが出資し組合員になり、権利として利用・活用し、運営に参加する。いのちとくらしを守る主体的な、かきこい消費者になる。その生活協同組合及びその運動の意義は大きくなっています。また、ヒロシマの生協として平和運動に積極的に取り組みます。また復興支援活動にも社会貢献活動として取り組みます。

職員数の少ない小さい事業体です。そのよさ・利点を生かして、組合員の生活の向上、安全・安心を追求するサービスを展開し、信頼を得たいと思います。



広島大学消費生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年2月末日現在)

〒739-0046 東広島市鏡山1丁目4-5 広島大学会館内 TEL.082-424-2525

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---|
| ●代表者名 | 理事長 河西 英通 | ●活動エリア | 広島大学の職域 |
| ●組合員数 | 23,146人 | ●役員数 | (常勤理事)3人、(非常勤理事)26人、(非常勤監事)6人 |
| ●事業高 | 3,198,097千円 | ●職員数 | (正規)27人、(定時)175人 |
| ●出資金 | 301,544千円 | ●HPアドレス | http://www.hucoop.jp/ |
| ●設立登記年月 | 1972年2月 | | |

2012年度活動方針の主な構成は以下の通りです。

【基本テーマ】

「組合員に貢献する事業の推進によって経営の再建を」、「組合員の生活から組織・事業の運営を」

【生協全体での重要課題】

①新学期事業・活動、②中期計画の策定、③キャンパスにおける福利厚生施策の構想、④広報機能の強化

広大生協にとって新学期事業活動は最重要課題と位置付け、2012年の春も取り組みました。

その結果、入学者数2,475名に対して生協オリジナルノートパソコン、ミールカード(生協食堂の年間利用定期券)とも実に半数の新入生にお申し込みいただきました。昨年以上の結果を残すことができたのは、学生サポーターと生協職員が力を合わせて同じ目標を共有して取り組んだこと、「前回と同じことを繰り返しても同じ実績は残せない、高い目標を掲げて新しいことに取り組んでこそ維持・発展がある」として様々な課題に果敢にチャレンジしたこと、だと考えています。生協・共済加入はもちろん、「パソコン総合サポート事業」(パソコン講座と安心サポートのセット)や今年から始めた「TOEIC・コミュニケーション講座」(英語講座)も、どれも受付・供給して終了、ではなく申し込みはスタートで、その後の利用・サポートこそが重要となります。ずっと安心して利用していただき「これはいい」と思ってもらえる方が多数いたからこそ、そのことを価値として先輩学生サポーターが新入生やその保護者の方に伝えることができ、結果につながったと言えます。この好循環を続けていけるよう、さらにチャレンジしていきます。



▲新入生サポートセンターの様子



広島修道大学生生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年2月末日現在)

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1丁目1-1 TEL.082-848-1097

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| ●代表者名 | 理事長 針持 和郎 | ●活動エリア | 広島修道大学内 |
| ●組合員数 | 7,051人 | ●役員数 | (常勤理事)1人、(非常勤理事)14人、(非常勤監事)3人 |
| ●事業高 | 671,549千円 | ●職員数 | (正規)4人、(定時)39人 |
| ●出資金 | 70,140千円 | ●HPアドレス | http://ha3.seikyoku.ne.jp/home/shudo-univcoop/ |
| ●設立登記年月 | 1972年11月 | | |

大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員 組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場にふさわしい様々な事業を行っています。ショップ・ブックストア・旅行サービス・アルカディア(カフェテリア食堂)を中心とした生協の店舗は、組合員の憩いの場であり、勉学研究を支える場となっています。また、「もしもの時はみんなの力で」をモットーに、学生が安心して生活できるよう、共済事業にも取り組んでいます。



新入生交流会の様子▶



広島中央保健生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)

〒733-0031 広島市西区観音町16-19 TEL.082-292-3179

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---|
| ●代表者名 | 理事長 吉富 啓一郎 | ●活動エリア | 広島市内を中心に県内全域 |
| ●組合員数 | 37,570人 | ●役員数 | (常勤理事)9人、(非常勤理事)17人、(非常勤監事)4人 |
| ●事業高 | 5,084,803千円 | ●職員数 | (正規)407人、(定時)317人 |
| ●出資金 | 977,263千円 | ●HPアドレス | http://www.hch.coop/ |
| ●設立登記年月 | 1955年9月 | | |

当生協は、まちづくりをすすめる中で運動と事業を通して1955年に設立しました。組合員が健康で長生きができ、安心して住み続けられるまちづくりをめざして、保健大学やくらしと福祉の学校、宅配給食など多彩な取り組みを進めています。今後も健康・医療・くらしなどの問題を持ち寄り、医療の専門家といっしょに問題解決のために運動を進め、医療生協の「患者の権利章典」「医療生協の介護」に基づいた事業活動をすすめていきます。

2012年度方針の概要

【方針の基調】

「生協けんこうプラザ」で開始される事業を発展させ、「新福生協病院」の新築移転計画に着手します。地域に協同の輪を広げて、長期計画を進めるにふさわしい事業と運動にとりくみます。

【方針の重点】

1. 組合員と地域の要求に応える第5次長期計画2年目の取り組みをすすめます。
2. 「出会い・ふれあい・支え合い」の運動を広げ、健康づくりと助け合いの輪を広げます。
3. 組合員参加の事業活動を強め、事業を広げ増収をはかり、経営の改善と質の向上に努めます。
4. 人権の尊重と社会保障の充実、健康で平和な社会の実現をめざして行動します。



▲子育て応援企画



福山医療生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)

〒720-0082 福山市木之庄町3丁目6-10 TEL.084-973-2280

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| ●代表者名 | 理事長 服部 融憲 | ●活動エリア | 県東部一円 |
| ●組合員数 | 12,912人 | ●役員数 | (常勤理事)4人、(非常勤理事)8人、(非常勤監事)3人 |
| ●事業高 | 600,896千円 | ●職員数 | (常勤)47人、(非常勤)42人、(登録ヘルパー)19人 |
| ●出資金 | 369,559千円 | ●HPアドレス | http://www.fico-op.jp/ |
| ●設立登記年月 | 1980年1月 | | |

福山医療生協は、これまで医療生協をいのちの分野に活かす大運動に取り組もうと～3つのあい「出会い・ふれあい・ささえあい」を呼び掛けてきました。昨年、今後迎える超高齢化社会を見通し「地域包括ケアシステム」がだされてきましたが、地域で「生きる」ためにどう支えあうのか、医療生協が取り組む「安心して住み続けられるまちづくり」がより具体的な課題となってきました。

2012年度は、『人びとのくらし全体を視野に、「安心して住み続けられるまちづくり」をめざし地域に協同の“わ”をひろげよう』をスローガンに掲げました。地域では核家族化や高齢者の一人暮らしなど、地域とのつながりが急速に薄れ、孤立し、日常生活や介護に不安を抱く高齢者が非常に多くなっています。医療生協に加入してもらうことで「きずな」をつくるのが求められています。支部や班を増やし、地域で配食や食事会などくらしの助け合い活動などをすすめて、医療生協のくらし安心ネットワークを広げます。青空健康チェックや健康班会など地域まるごと健康づくりの取り組みや、たすけあいの会などの互助活動などこのような組合員の活動と事業活動が連携するしくみをつくります。



▲原発からの撤退を求める駅前行動



広島医療生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目19-6 TEL.082-879-1111

- | | | | |
|----------|-------------|----------|---|
| ● 代表者名 | 理事長 尾野 展昭 | ● 活動エリア | 広島市を中心に県内全域 |
| ● 組合員数 | 48,065人 | ● 役員数 | (常勤理事)8人、(非常勤理事)16人、(非常勤監事)6人 |
| ● 事業高 | 5,062,245千円 | ● 職員数 | (正規)417人、(定時)233人 |
| ● 出資金 | 1,187,461千円 | ● HPアドレス | http://www.hiroshimairyō.or.jp |
| ● 設立登記年月 | 1967年5月24日 | | |

1966年10月、300人の組合員、30万円の出資金で創立して今年で46年となります。事業活動では医療事業においては「患者の権利章典」を日常活動の指針とし、199床の広島共立病院を中心に4つの医科診療所と1つの歯科診療所を運営し、介護事業では「医療生協の介護」を日常活動の指針とし、訪問看護、訪問介護、ショートステイ、デイケア・デイサービスの各事業をすすめています。

2012年度は下記の4つの基本方針をかかげ事業と運動をすすめています。

1. 医療福祉生協の理念(参加と協同、そして連携)、「患者の権利章典」、「医療生協の介護」を共有した医師、青年職員をはじめ医療福祉生協の後継者の確保、育成をすすめます。
2. 毎月1000万円増資、1億7千万円の経常剰余を達成し、新病院着工の条件である資金を確保(2010年度から累計3億円)し、夢の実現をスタートさせます。
3. 保健・医療、福祉・介護の事業のネットワークをひろげ、事業活動をつうじて地域の人々の願いに応えます。
4. 組合員と職員との協同、地域の多くの団体等との連携をすすめる、社会保障の充実と誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざします。



生活協同組合ひろしま

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)

〒739-0495 広島県廿日市市大野原1丁目2-10 TEL.0829-50-0350

- | | | | |
|----------|--------------|----------|---|
| ● 代表者名 | 理事長 林 辰也 | ● 活動エリア | 県内全域 |
| ● 組合員数 | 386,071名 | ● 役員数 | (常勤理事)5人、(非常勤理事)14人、(常勤監事)1人、(非常勤監事)4人 |
| ● 事業高 | 42,268,904千円 | ● 職員数 | (正規)634人、(定時)1,218人、(福祉専門職員・ヘルパー)626人 |
| ● 出資金 | 13,320,089千円 | ● HPアドレス | http://www.hiroshima.coop/ |
| ● 設立登記年月 | 1971年5月 | | |

第28回通常総代会を6月12日に開催し、2011年度報告と決算、2012年度計画と予算、役員(監事)の補充選任について決定しました。

2011年度の決算は減収であるものの増益となりました。しかし、無店舗事業・店舗事業とも利用人数と利用高の減少が続いており好調とはいえないのが実状です。一方、福祉事業は堅調に推移しており前年に続き収入が10億円を超過しています。

2012年度は、方針として「組合員の求めるサービスを提供し、誰もが安心してくらせることをめざします」を掲げ、組合員に一層満足していただける事業と活動を展開します。具体的には、2011年度に続き「ぜったいじまん商品」という名称で組合員と職員のアンケートにより選ばれた毎月1品目の良いところやおいしい食べ方などを組合員にお知らせし普及していく取り組みや、商品の品揃えやコスト削減、物流機能の向上などのために「パルティオ」という子会社を設立し店舗事業の支援をおこないます。また、開設3年目となる農業生産法人「ハートランドひろしま」では、土耕・ハウス栽培・フィールド養液栽培の3つを柱に本格的な稼働をおこないます。フィールド養液栽培では知的障がいを持つ方の働く場としても設定していますが、この4月には新たに3名の利用者(社員)を採用し計13名の知的障がい者が元気よく働いています。そして、昨年3月11日に発生した東日本大震災の被災生協や被災者に対して、募金や人的・物的支援をおこなってきましたが、2012年も引き続き支援をおこなっていきます。



▲ハートランドひろしま

お知らせ

第41回 広島県生協大会のご案内

2012年国際協同組合年・県連創立45周年記念して協同組合の意義や役割について考える内容を企画しています。功労者表彰や北欧視察研修の報告、記念講演など盛りだくさんの生協大会へ是非ご参加ください。

日 時：2012年10月25日(木) 13:10~16:00(予定)

会 場：メルパルク広島 6階 平成の間

記念講演：〈講師〉月尾嘉男さん 東京大学名誉教授(地域経済総合研究所評議員、工学博士、冒険家)

〈演題〉国際協同組合年と環境共生型社会(仮題)



日立造船因島生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)

〒722-2324 広島県尾道市因島田熊町4508-1 TEL.0845-22-2560

- | | | | |
|----------|-------------|----------|---|
| ● 代表者名 | 理事長 岡野 龍広 | ● 活動エリア | 尾道市因島・瀬戸田町・愛媛県越智郡上島町(弓削・生名・岩城・佐島) |
| ● 組合員数 | 13,348人 | ● 役員数 | (常勤理事)6人、(非常勤理事)9人、(非常勤監事)3人 |
| ● 事業高 | 3,125,592千円 | ● 職員数 | (正規)42人、(定時)82人 |
| ● 出資金 | 383,836千円 | ● HPアドレス | http://www.innoshima-seikyo.com/ |
| ● 設立登記年月 | 1950年3月 | | |

日立因島生協は、店舗事業(食品店舗5店、衣料店舗(FC契約)1店、100円ショップ(委託)共同購入事業(1支所))葬祭事業(葬祭会館2店 仏壇仏具2店 外食(1店))。職域事業(4店)で展開しています。

平成24年度基本方針

- 〈1〉経営改革を進め、適切な経常剰余金の確保をします。
 (1) 損益構造の向上 (2) 効率的な生産性と人材育成
- 〈2〉業務構造改革を進め、組合員に支持される事業を確立します。
 (1) 店舗事業の構造改革の推進 (2) 個配事業を軸とした無店舗事業の利用拡大
 (3) 葬祭事業の信頼・満足度アップと関連事業の拡大
- 〈3〉組合員活動の活性化と参加への促進を図ります。
 (1) 組合員参加の見直し (2) 組合員活動の推進。
- 以上を取り組みます。



▲第64回協同組合まつりの模様



竹原生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)

〒725-0026 竹原市中央1丁目9-11 TEL.0846-22-2636

- | | | | |
|----------|-----------|----------|---|
| ● 代表者名 | 理事長 武田 孝治 | ● 活動エリア | 竹原市・三原市・呉市・東広島市・広島市等9市6町 |
| ● 組合員数 | 10,461人 | ● 役員数 | (常勤理事)7人、(非常勤理事)6人、(非常勤監事)4人 |
| ● 事業高 | 782,539千円 | ● 職員数 | (正規)26人、(定時)32人 |
| ● 出資金 | 382,407千円 | ● HPアドレス | http://www.takehara-coop.jp/ |
| ● 設立登記年月 | 1964年5月 | | |

1964年5月に、三井金属鉱業(株)竹原製煉所の職域生協として設立され、店舗・宅配・燃料・共済の4つを柱に事業を展開しています。竹原市に2店舗営業し、約20年前より週2回・配達料無料の宅配を行い、1万人強の地域生協になりました。

2012年5月26日(土)に、第49回通常総代会を開催し、議案すべてが賛成多数で可決決定されました。2012年度は引き続き厳しい経営環境の中、組合員の生活に安心・安全な商品を提供するため、生協のもつ人的・物的経営資源をより効率的に活用し、予算達成を最大目標に掲げ、経営再建3ヶ年計画案を作成し経営改善に努めます。具体的には、竹原生協の主要事業の4本柱を中心に、組合員へのサービス向上と「組合員と職員が共につくる思いやり、助け合いの生協」を目指します。



グリーンコープ生活協同組合ひろしま

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)

〒731-0103 広島市安佐南区緑井1丁目28-47 TEL.082-831-1503

- | | | | |
|----------|-------------|----------|---|
| ● 代表者名 | 理事長 林 和子 | ● 活動エリア | 県内全域(一部配達していない地域あり) |
| ● 組合員数 | 19,323人 | ● 役員数 | (常勤理事)2人、(非常勤理事)21人、(非常勤監事)2人 |
| ● 事業高 | 3,291,638千円 | ● 職員数 | (職員)63人、(定時職員)108人 |
| ● 出資金 | 686,105千円 | ● HPアドレス | http://www.greencoop-hiroshima.or.jp/ |
| ● 設立登記年月 | 1993年6月 | | |

さる6月7日に第二十期通常総代会が終了しました。今年度は「助け合い・支え合って、安心して暮らせる地域をつくっていきましょう!」を基本方針に、生命(いのち)を育む食べもの運動を力強く進めるとともに、日々の暮らしを見つめ直し、心豊かなくらしを目指していきます。その為には、改めて生活協同組合の原点である、みんなで「仲間作り」、みんなで「出資・利用・運用」を進めていきます。そして、より多くの組合員の声を聞く場として、配送エリア14地区で地区組合員総会を行い、組合員が自分の地区の運営に参加する場、地区の組合員同士で交流する場として開催しています。

そして、今年度は利用低迷の続いている畜産品を強化するために、産直畜産物のメーカーさんとの交流や学習会を開催していきます。そして組合員と生産者、また生産者と事務局員が交流し、お互いに支えあっていくことを目指していきます。



▲肥後あか牛生産者との交流会の様子



▲GC専用びん牛乳工場見学(生乳タンク)



広島県労働者共済生活協同組合

(組合員数、出資金、事業高は2012年5月31日現在)

〒732-8505 広島市東区曙4丁目1-28 TEL.0120-39-6031

- | | |
|----------------------|--|
| ● 代表者名 高松 俊二 | ● 活動エリア 全県 |
| ● 組合員数 388,265人 | ● 役員数 (常勤理事)1人、(非常勤理事)26人、(非常勤監事)4人 |
| ● 事業高 97,653,243円 | ● 職員数 (正規)35人、(定時)35人 |
| ● 出資金 2,480,107,500円 | ● HPアドレス http://www.zenrosai.coop/ |
| ● 設立登記年月 1959年1月 | |

2012年7月27日(金)に、ホテルグランヴィア広島にて第54回広島労済生協通常総代会および第3回全労済広島県本部代表者会議を開催いたしました。

議案審議・付議事項審議は以下の通りとなっています。

■第54回広島労済生協通常総代会■

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 2011年度事業報告および決算報告承認の件 |
| 第2号議案 | 2011年度剰余金処分(案)承認の件 |
| 第3号議案 | 2012年度事業計画および予算設定の件 |
| 第4号議案 | 2012年度役員報酬額設定および退任役員退任慰労金支
〈 任慰労金支給承認の件 〉 |
| 第5号議案 | 定款の一部改正の件 |
| 第6号議案 | 総合(慶弔)共済事業規約の一部改正の件 |
| 第7号議案 | 振替増資承認の件 |
| 第8号議案 | 全労済総会の議案審議の件 |
| 第9号議案 | 全労済総会代議員選出の件 |
| 第10号議案 | 議案決議効力発生の件 |
| 第11号議案 | その他 |

■第3回全労済広島県本部代表者会議■

- | | |
|-------|----------------------------|
| 付議事項1 | 2011年度広島県本部統合事業報告および決算報告の件 |
| 付議事項2 | 2012年度広島県本部統合事業計画および予算の件 |
| 付議事項3 | その他 |



▲東日本大震災 宮城県本部災害対策本部
(調査・認定班全国動員の様子)

【2011年度の主要な活動】

- 1) 巨大震災等に対する被災組合員への支援態勢の強化と事業推進活動の展開
- 2) 組合員の満足度を高める取り組みの強化
- 3) 協力団体・組合員への的確な保障提案にもとづく複合・新規の事業推進
- 4) エリア拠点を核とした新たな事業推進態勢への改革

【2012年度基本方針】

- 1) 東日本大震災総括を踏まえた取り組み
- 2) 組合員の満足度を高める取り組みの強化
- 3) 協力団体・組合員への的確な保障提案にもとづく複合・新規の事業推進
- 4) エリア拠点を核とした新たな事業推進態勢への改革



生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合 (コープCSネット)

(組合員数、供給高、出資金は2012年3月31日現在)

〒732-8504 広島県広島市東区二葉の里1-1-46 TEL.082-236-6835

- | | |
|--|--|
| ● 代表者名 代表理事・理事長 三橋 幸夫 | ● 設立登記年月 2005年10月3日 |
| ● 会 員 生 協 鳥取県生協、生協しまね、おかやまコープ、
生協ひろしま、コープやまぐち、とくしま生協、
コープかがわ、コープえひめ、こうち生協(9生協) | ● 役員数 (常勤理事)2人、(非常勤理事)18人、
(常勤監事)1人、(非常勤監事)4人 |
| ● 組合員数 1,631,039人(9生協合計) | ● 職員数 (正規職員)100人、(定時職員)123人〔派遣
契約職員含む〕、(嘱託職員)14人、 |
| ● 供給高 1,818億6千6百万円(9生協合計) | ● HPアドレス http://www.csnet.coop/ |
| ● 出資金 567億3千6百万円(9生協合計) | |
| ● 出資金 10億6,600万円(事業連合) | |

【コープCSネット 第3次中期計画骨子】

総会で承認された2011年度～2013年 第3次中期計画の基調は次のとおりです。

事業連合設立当初の目的である「経済合理性の追求」をさらに進めること、そして確認された「今後の事業連帯についての方向性と考え方」を具体化すること、コープCSネット自体の様々な面からの見直し・適正化とあわせて、課題を絞り込み、それを実行することで、会員生協への経営貢献・中四国宅配事業の確立を目指すものとします。

- (1) 宅配事業においては、商品開発・品揃え・媒体強化等MD改革をさらに進め、会員生協の事業・組合員の生活に貢献できる事業を目指します。
- (2) 運営機能の統合・集中化と分散機能を明確化し、集中化することでコスト削減・経営貢献を行い、会員生協連結での経常剰余率3%以上の達成を目指します。
- (3) 事業連合としてのあるべき体制・コスト構造・損益構造・経営スタイルを明確化し、改善を行うと同時に、将来展望の持てる組織づくりを行います。
- (4) 日本生協連や全国の生協・事業連合との協力関係を強め、連帯することで可能な限りの経済合理性を追求します。
- (5) 会員生協とのコミュニケーション強化と連携の中で、信頼関係を強め、より強固な連帯組織づくりを目指します。



▲2012年10月より、尾道冷凍セットセンター(通称: ORSC)が中国5会員生協の冷凍商品のセットセンターとして稼働します。
(手前がORSC(冷凍セットセンター)・奥側が2010年5月に稼働したODSC(ドライセットセンター))

会員生協しポーターからの報告



広島中央保健生協

生協けんこうプラザ竣工記念 開院祝賀会85人、お披露目会に180名

念願の「生協けんこうプラザ」が7月2日にオープンし、開院祝賀会とお披露目会を7月15日に開催しました。オープニングセレモニー(5F多目的ホール)の後、来場者には施設内全フロアの見学後、各支部の活動紹介(掲示)や、ヨガ教室・転倒予防体操などの模擬班会を体験に参加していただきました。5階建新施設の屋上には太陽発電パネルを設置して発電を行うことによって、1年間でマツダスタジアム約10個分に相当するCO2削減効果があり、エネルギーでも社会的な貢献を目指します。

生活習慣病予防はもとより医科歯科連携の観点からも地域・組合員の期待は大きく、広島市西区長向井政博様をはじめ多くの方から祝電・メッセージもいただきました。

2012年国際協同組合年の年、組合員の期待を担って、今、新たにあゆみはじめます。

フロア案内

生協けんこうプラザ

- 1F 生協歯科ひろしま
- 2F 生協内科クリニック
- 3F 介護系事務所
- 4F 本部・総務部・組織部・
ふれあいサロン(組合員ルーム)
- 5F 多目的ホール



▲2012年7月15日 開院祝賀会式

生協ひろしま

「移動店舗」スタート

全国的に人口減少や高齢化が進み、買い物弱者の増加が社会問題となっているなか、生協ひろしまに対して近くに店舗がない組合員から「移動店舗」の導入の要望が出てきました。そこで、生協ひろしまでは2011年6月より「買い物弱者対応・移動店舗事業プロジェクト」を発足し導入の検討をおこない、2012年4月16日からスタートしました。コープ五日市北を母店(商品の供給店舗)として、地域連携協定を締結している佐伯区を中心に、西区と安佐南区の一部地域を含め63ヶ所の営業場所に月曜から土曜まで訪問しています。利用された方からは、「なんでもおいてるんじゃない」「毎週来てくれるのなら非常に便利。今まではバスで買い物に出ていたので楽になります」など多くの喜びの声が寄せられています。



▲2012年4月16日にスタートした移動店舗
切り花も人気

広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2丁目6-11
TEL.082-532-1300

- 代表者名 副会長理事 岡村 信秀
- 組合員数 14生協(977,830人)
- 事業高 33,830千円
- 出資金 24,864千円
- 設立登記年月 1967年9月
- 会員生協内訳 購買生協(地域・職域)6、
医療生協3、大学生協2、
労済生協1、事業連合1、活動休止1

- 役員数 (常勤理事)1人、(非常勤理事)15人、
(非常勤監事)2人
- 職員数 (職員)1人、(定時)2人
- HPアドレス <http://hiroshima.kenren-coop.jp/>

(組合員数、出資金、事業高は2012年3月31日現在)